

令和8年度 調布市立第六中学校 学校経営計画（学校長 佐伯 あつ子）

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごともやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像、教員像、児童・生徒像	
○「自ら学び、考える生徒」→ 主体的で創造的な思考力を育成する ○「命を大切にする生徒」→ 人権尊重の精神、道徳性を養う ○「何ごともやりぬく生徒」→ 自己実現能力の育成	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	本校は明るく伸びやかな生徒が多く、素直で知的好奇心が旺盛である。学校は、人権尊重の精神とキャリア教育を重視し、これからの社会でどのような自己実現を果たしていくのかを追求し続ける生徒を育成したい。そのために、自他を尊重する態度を養い、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に展開して多様な学びを体験させ、どんな困難にも仲間と共に立ち向かう勇気と知性を身に付けさせることが必要である。
中期的な経営目標	
<p>① 確固たる人権感覚の基盤の上に道徳教育を充実させ、自他の生命・存在を大切にする態度と豊かな心を育成する。</p> <p>② 魅力ある授業づくりのための授業改善を継続し、生徒の自立的な学び、協働的な学びを実現して、創造的な思考力を育成する。</p> <p>③ 安全指導、性教育、食育を充実させ、食物アレルギーへの理解を深め、体力向上や心身の健康に対する意識啓発を図る。</p> <p>④ 特別支援教育の充実を図るとともに、発達段階に応じた系統的・計画的なキャリア教育を通して職業的・社会的自立の能力を育む。</p> <p>⑤ 家庭、地域、関係機関との連携の強化と地域学校協働本部の活動の活性化を図り、教育活動への理解・協力を推進する。</p> <p>人・組 OJT を活用した人材育成と組織的な指導体制を確立し、ミドルリーダー、管理職候補者の育成を図る。</p>	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 人権教育、道徳教育の全体計画及び年間指導計画の策定・改善(通年)、人権課題の取組(各学年3課題以上)、道徳校内研修8回以上	① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善、ICTの活用、体験活動や多様な他者との協働的な学びの充実	① 体力向上に向けた体育の授業および体育的行事での個別の目標の設定(随時)、人権教育としての性教育(年3回以上)、実りある部活動指導(随時)
② 生活アンケートの実施(毎月)、「SOSの出し方」授業(7月)、不登校を未然に防ぐ支援(SC、サポートルームの活用)	② インクルーシブ教育システムの構築を図るため、特別支援の視点でのわかりやすく居心地の良い環境・授業づくり	② 第3学年薬物乱用防止教室(3月)、食育(通年、給食便り)、食物アレルギー事故防止研修会、SOSの出し方授業・自殺防止授業(年1回)いのちの安全教育の充実(1回)
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 生徒・保護者による学校評価(年2回)で肯定的評価80%以上	① 生徒による教科教員別授業アンケートの肯定的評価80%以上(学期に1回)	① 生徒による授業評価で肯定的評価80%以上
② いじめ対応について、学校関係者による学校評価(年2回)で肯定的評価80%以上	② 生徒・保護者による学校評価(年2回)で肯定的評価80%以上	② 講演会後の生徒による授業評価(感想文等)で肯定的評価80%以上。また、参加した保護者アンケートで肯定的評価80%以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 キャリア教育の充実	5 対話を重視した言語能力の育成	6 CS 運営委員会、地域学校協働本部との連携
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 3年間を見通したキャリア教育計画の周知(4月生徒・保護者)、六中タイムを中心としたキャリア教育の取組、主権者教育(年1回)消費者教育(年1回)	① 本に親しむ心を育成し、言語活動の充実を図るため、学校図書館の充実と有効的な活用、朝読書(毎日)やビブリオトークによる読書活動の充実	① コミュニティスクール2年目として、学校のビジョンを保護者・地域と共有し、本校独自の取組を模索・発信
② 進路指導部会及び研修部会の充実	② 哲学対話(月1回)を中心とした対話を重視した活動を、すべての場面で基盤とする	② 地域学校協働本部との連携協力(通年)、数学ステップアップ教室(10回)、英語検定直前自習サポート(6回)、
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 参加した生徒による授業評価(感想文等)で肯定的評価80%以上	① 生徒・保護者の学校評価で肯定的評価80%以上	① 運営委員会の開催(年6回)とHPでの内容の発信(随時)
② 年間20回以上実施	② 対話に関する意識調査で肯定的評価80%以上	② 参加生徒アンケートで満足度90%以上
人材育成・組織運営		
① 全教員に「資質の向上に関する指標」を示し、自己申告の面接時に各自のキャリアプランを踏まえた到達目標を立てさせる。(年度当初)		
② 全校でOJT体制を構築して相互育成の雰囲気を作るとともに、主任選考や外部研修を促し、ミドルリーダーの育成を図る。(通年)管理職候補者を育成するために、業務の改善を図り、学校経営への興味と希望がもてるような言動を意識し、随時面談を行う。(通年)		

